

3on3大会 競技規則

蟹江町バスケットボール協会

◆ 使用ボール

- ① 中学生男子女子・高校・一般女子の部7号ボール
- ② 高校・一般男子の部7号ボール
- ③ 男女混合vsの場合は、6号ボール

◆ 得点

- ① 2ポイントライン内側からの得点……1点
- ② スリーポイント・エリアからの得点……2点
- ③ フリースローでの得点……1点

◆ ゲームの内容

- ① 試合時間は全て7分を流しで行う。
- ② 先に7点先取したチームを勝ちにする。
- ③ ゲーム前にジャンケンを行い、勝ったチームがスタートライン(スリーポイントラインとセンターラインの間に引かれたライン)からスローイングを行う。
- ④ スタートラインからのスローイングは、一度ディフェンスにボールを渡し(以後、チェックと呼ぶ)、ボールが戻った時点からスタートとする。
- ⑤ スタートは必ずパスから始めること。この時、ディフェンスはスタートライン内側には入れないものとする。
- ⑥ メンバーチェンジは、マイボールの時(ボールがスタートラインにある時)に行う。
- ⑦ 得点係にメンバーチェンジの申告を行い、審判がメンバーチェンジを告げる。
- ⑧ タイムアウトは各試合につき各チーム1回ずつ与えられる。1回のタイムアウトは、30秒。タイムアウトの間も時計は止まらない。ただし、ゲーム残り1分で取った時には時計が止まる。
- ⑨ 同点の場合は、フリースローでの勝敗とする。また、3点先取したチームの勝ちとする。

◆ ファールのカウント

- ① ゲーム残り3分になって、通算で4つ目からのファールは相手チームに1つのフリースローを与える。

② シュート動作中のファール

シュートが入った場合にはバスケットカウントとし、シュートを決められたチームにスタートラインでボールが与えられる。

シュートが入らなかった場合には、ファールを受けたチームにフリースローが与えられる。フリースローが入らなかった場合は、そのままプレーを続行する。

③ シュート動作中以外のファール

ファールを受けたチームに、スタートラインでボールが与えられる。

④ その他のファール

スコアキーパーが故意によるファール・危険なファールと判断し場合には、ファールされたチームには2つのフリースローが与えられ、スタートラインから再びボールが与えられる。

◆ バイオレーション

- ① 24 秒ルールは無いものとするが、故意に時間を使うようなプレーは慎むこと。

◆ 攻守の交代

- ① ゴールを決めた場合は攻守交代となる。(すなわち、相手チームボールとなり、スタートラインから開始する)
- ② リバウンドボールには、どちらのチームにも所有権が無く、ボールを持ったチームのボールとなる。
- ③ オフェンス側がボールを保持した場合、そのままプレーを続行する。
- ④ ディフェンス側がボールを保持した場合、パスかドリブルでスリーポイントラインの外側まで完全に運び出した(両足がスタートラインを超えた)時点で攻守交代となる。
- ⑤ スリーポイントラインの外側に運び出るまでは、攻撃側にアドバンテージが与えられるので、再びボールをインターセプトして攻撃できる。
- ⑥ オフェンス側のファウル、オフェンス側の得点、ヘルドボールの場合、スタートラインからゲームスタートとする。
- ⑦ オフェンス側のタッチボールがラインを割った場合、攻守交代のスローイングはスタートラインからとなる。
- ⑧ 守備側のファウルやアウトオブバウンズでゲームが中断し、引き続きオフェンス側がプレーを続行する場合は、一番近いサイドラインからのスタートとなる。(エンドラインからのスローイングは無いものとする)
- ⑨ ヘルドボールは、試合開始時にジャンケンで負けた方に所有権を与える。
- ⑩ スタートラインからプレイを再開する場合、オフェンスはいったん相手チームにボールを手渡し、それを返してもらってからプレイを開始する。

■ その他

- ① 上記のルールに載っていないものは、全て日本バスケットボール協会の公式ルールを適用する。
- ② ルールなどでわからない点等が発生した場合、協議委員会で協議の上で決定することとし、その決定は絶対なものとする。
- ③ 服装はチームのメンバーで、上衣を同じ色である程度揃える。揃える程度は、オフィシャルがゲーム中に他チームと区別が可能な程度とする。
- ④ ダンクシュートは禁止とする。